

被災園芸施設復旧の支援

事業概要

国の東日本大震災農業生産対策交付金を活用した、被災農業用施設の営農再開へ向けた支援の実施

年度	実施状況
H23	<p>市川地区8組合の農業用施設の復旧整備</p> <ul style="list-style-type: none">・市川復旧組合(パイプハウス40棟、生産資機材導入、井戸試掘8ヶ所)・八戸苺生産組合(出荷用資材導入)・橋向機械利用組合(トラクター2台、コンバイン、田植機、アタッチメント類の導入)・市川稲作組合(コンバイン導入)・浜機械利用組合(トラクター、コンバイン等導入)・下揚農機組合(トラクター導入)・橋向北農機組合(コンバイン、田植機の導入)・市川下機械利用組合(トラクター等導入)
H24	<p>市川地区の農業用施設の復旧整備</p> <ul style="list-style-type: none">・市川復旧組合(パイプハウス8棟、生産資機材導入)
H25	<p>市川地区の農業用施設の復旧整備及び農業機械の導入</p> <ul style="list-style-type: none">・市川復旧組合(パイプハウス整備(4棟)、うね立て機(1台)、生産資機材の導入)・市川稲作組合(田植機(1台)、米乾燥機(一式)のリース方式による導入)

地域農業経営再開復興支援事業

事業概要

国の地域農業経営再開復興支援事業を活用した、経営再開マスタープランの作成・更新及び農業次世代人材投資資金の交付

経営再開マスタープラン

- 復興後の農業の担い手や農地集積等、それぞれの地域が抱える人や農地等の問題を解決するための未来設計図として、市が作成
- 経営再開マスタープランに位置付けられることで、農業次世代人材投資資金などの支援が受けられる

農業次世代人材投資資金 (H28年度までは青年就農給付金)

- 次世代を担う農業者となることを志向する者の経営確立を支援するため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保するための資金を交付

年度	マスタープランの 作成・更新(地区数)	農業次世代人材投資資金	
		交付件数(経営体数)	交付額(千円)
H24	9	8	10,125
H25	6	13	18,375
H26	11	14	33,750
H27	11	14	12,375
H28	11	22	31,125
H29	11	19	27,750
H30	11	18	29,250
R元	—	16	13,875
R2	5	14	20,357

市川いちご復興プロジェクトの推進

事業概要

市川地区のいちご栽培再開へ向けた海水浸水農地の塩分集積濃度の定期的測定及びいちごや代替作物の栽培調査の実施

年度	浸水農地の塩分集積濃度の定期的測定	代替作物(あしたば)の栽培調査	いちご定植後の生育状況の調査
H23	<p><測定期間> H23.4.28～H23.9.9 <測定回数> 15回 <結果> EC(塩分濃度の目安)0.3mS/cm以下の定植可能土壌 10.9%(測定開始時) ⇒45.7%(9.9 測定時)</p>	H23.10 4カ所に約1,500株定植(11月活着良好)	H23.10 概ね良好な活着 (作付品目・ほ場変更、一部塩害症状)
H24	<p><測定期間> H24.7.13～H24.8.10 <測定回数> 4回 <結果> 測定実施農地の80.4%(37件/46件)が回復</p>	概ね順調な生育	概ね順調な生育
H25	<p><測定期間> H25.6.28～H25.10.25 <測定回数> 1回 <結果> 測定実施農地の97.8%(45件/46件)が回復</p>	概ね順調な生育	概ね順調な生育
H26		抽台※発生	概ね順調な生育
H27		植え直し	概ね順調な生育
H28		生育順調、収穫	概ね順調な生育

※抽台…花茎(花を咲かせる茎)が伸びた状態。葉が固くなり、葉菜類は味が落ちるため、事前に収穫する必要がある。